



# 2022年12月期 第3四半期決算説明会

株式会社 堀場製作所

常務取締役 財務法務本部長 大川 昌男

2022年11月11日

# 説明内容

---

- 2022年12月期 1 - 9月期決算概要
- 2022年12月期 通期業績予想
- 営業利益分析
- 為替の影響額
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 株主還元政策
- その他トピックス

## < 免責事項 >

本プレゼンテーション資料には、株式会社堀場製作所の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。また経済動向、他社との競争状況、為替レートなどの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、為替レート、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

# 2022年12月期 1-9月実績

(単位：億円)

半導体を中心に販売が増加したことなどにより増収増益

	2021年	2022年	増減	
	1-9月実績	1-9月実績	金額	率
売上高	1,539	★ 1,851	+311	+20.2%
営業利益	198	★ 285	+87	+43.9%
営業利益率	12.9%	15.4%	+2.5p	-
経常利益	198	★ 295	+96	+48.5%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	137	★ 207	+69	+50.9%
USドル (円)	108.58	128.30	+19.72	
ユーロ (円)	129.87	136.05	+6.18	

★ : 過去最高

# 2022年12月期 1-9月実績 (セグメント別)

(単位：億円)

	売上高				営業利益			
	2021年	2022年	対前年同期増減		2021年	2022年	対前年同期増減	
	1-9月実績	1-9月実績	金額	率	1-9月実績	1-9月実績	金額	率
自動車	373	413	+40	+10.7%	▲19	▲32	▲13	-
環境	145	★154	+8	+5.9%	12	9	▲3	▲24.2%
医用	191	★215	+24	+12.9%	0	▲0	▲1	-
半導体	626	★814	+187	+29.9%	197	★292	+95	+48.3%
科学	202	★253	+51	+25.2%	6	★16	+9	+139.1%
合計	1,539	★1,851	+311	+20.2%	198	★285	+87	+43.9%

★：過去最高

<自動車>

欧州にてECT※事業の販売増加。調達価格高騰、成長分野への投資拡大による費用の増加、および為替動向の影響などを受け、営業損失計上

<環境・プロセス>

米州、日本において販売増加。調達価格高騰などの影響を受け、減益

<医用>

アジア、日本において販売増加。利益率の良い試薬の販売は増加したが、調達価格高騰の影響などを受け、営業損失計上

<半導体>

半導体メーカーの設備投資が拡大し、半導体製造装置メーカー向けの販売が大幅に増加

<科学>

ラマン分光分析装置や光学モジュールの販売増加

# 2022年12月期 通期業績予想

(単位：億円)

売上高とすべての利益を上方修正

	2021年	2022年		増減	
	実績	前回予想 (8/12)	今回予想 (11/11)	対前年	対 前回予想
売上高	2,243	2,600	★ 2,650	+406	+50
営業利益	320	400	★ 430	+109	+30
営業利益率	14.3%	15.4%	16.2%	+1.9p	+0.8p
経常利益	320	400	★ 435	+114	+35
親会社株主に帰属 する当期純利益	213	280	★ 300	+86	+20
USドル (円)	109.90	130.00	133.00	+23.10	+3.00
ユーロ (円)	129.91	135.00	138.00	+8.09	+3.00

# 2022年12月期 通期業績予想 (セグメント別)

(単位：億円)

	売上高					営業利益				
	2021年	2022年		増減		2021年	2022年		増減	
	実績	前回予想 (8/12)	今回予想 (11/11)	対前年	対前回予想	実績	前回予想 (8/12)	今回予想 (11/11)	対前年	対前回予想
自動車	612	660	660	+47	-	▲0	-	▲15	▲14	▲15
環境	202	235	★235	+32	-	19	20	20	+0	-
医用	258	285	★285	+26	-	1	5	5	+3	-
半導体	870	1,070	★1,120	+249	+50	280	350	★395	+114	+45
科学	299	350	★350	+50	-	19	25	★25	+5	-
合計	2,243	2,600	★2,650	+406	+50	320	400	★430	+109	+30

★ : 過去最高

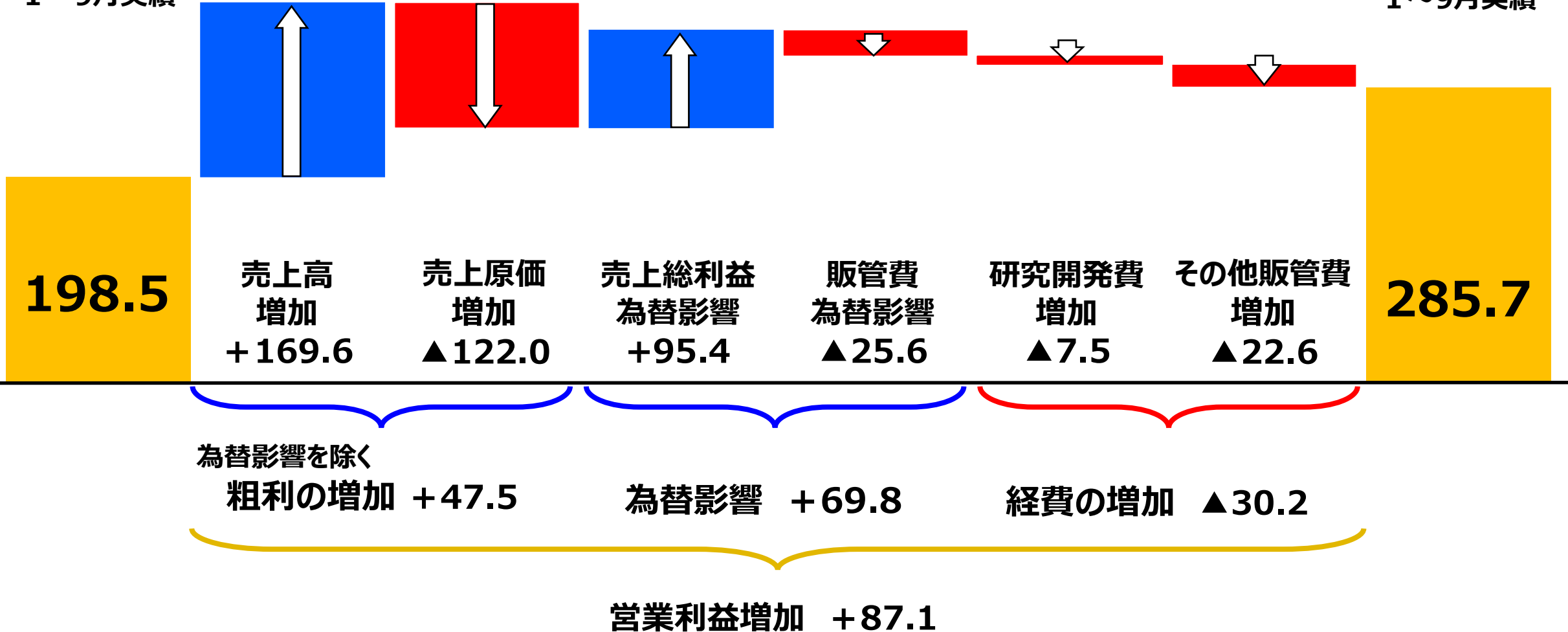
<自動車> 受注増加に対応するための一時的な費用の増加、および調達価格高騰の影響などを勘案し、下方修正  
 <半導体> 直近の受注および為替の動向を鑑み、売上高と営業利益を上方修正

# 営業利益分析

(単位：億円)

2021年  
1～9月実績

2022年  
1～9月実績



# 2022年為替推移／想定レート／為替の影響額

	2021年	2022年				
	通期	前回予想 (8/12)	実績	予想		VS 前年(通期)
			1-9月	10-12月	通期	
USドル	109.90	130	128.30	147.10	133	+23.10
ユーロ	129.91	135	136.05	143.85	138	+8.09

## 2022年1-9月期 為替影響額（前年同期比）

(単位：億円)

売上高の増加	+ 142.0
売上原価の増加（逆符号）	▲ 46.5
売上利益の増加	+ 95.4
販売費及び一般管理費の増加（逆符号）	▲ 25.6
営業利益への影響	+ 69.8

## 為替感応度（2022年通期予想） 1円円安による売上高/営業利益の影響額

(単位：億円)

	売上高	営業利益
USドル	+ 7.0	+ 3.7
ユーロ	+ 3.4	▲ 0.0



# 設備投資額・減価償却費・研究開発費

(単位：億円)

	2021年	2022年		2022年	
	実績	前回予想 (8/12)	今回予想 (11/11)	対 前回予想	1-9月実績
設備投資額	124	150	135	▲ 15	74
減価償却費 <sup>※</sup>	104	110	110	-	83
研究開発費	167	190	190	-	132
(対売上高比)	7.4%	7.3%	7.2%	▲0.1p	7.2%

※無形固定資産の償却費含む

## 2022年 トピックス

- 有形固定資産：  
 継続：中国拠点強化、ホリバ・フューエルコン社新工場建設  
 新規：各拠点生産設備強化など

# 株主還元政策

## 基本的な考え方

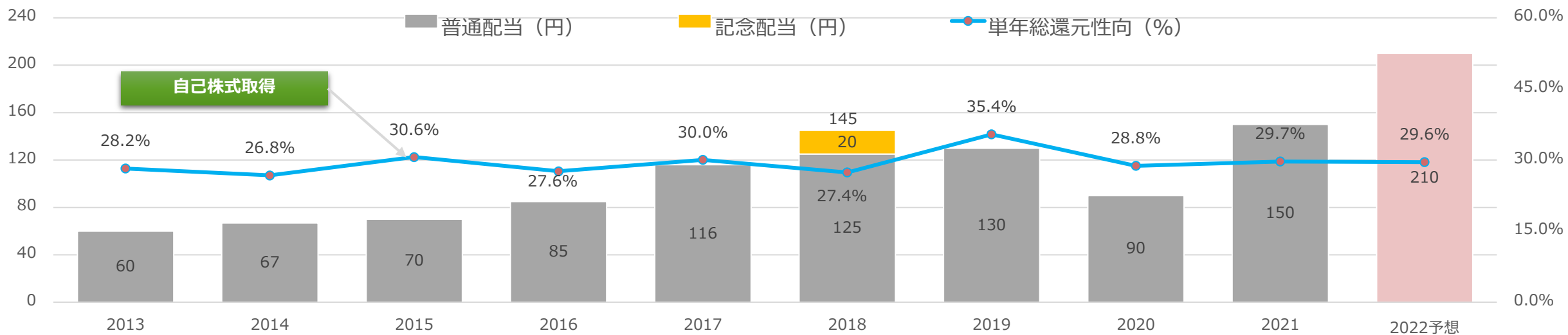
- 配当金 + 自己株式取得 = 連結純利益 × 30% を目処
- 残りは戦略的投資資金として内部留保（設備投資・M&Aなど）

## 配当金及び自己株式の取得

- 2020年実績 90円[中間 30円、期末 60円]
- 2021年実績 150円[中間 50円、期末 100円]
- 2022年予想 210円[中間 65円、期末 145円]

前回予想から  
1株あたり10円上方修正  
(中間配当金は8月に実施済み)

## 配当推移



# 注力市場に向けた新製品開発

分析時間やメンテナンス工数の削減など、効率化に資するHORIBAの技術

## 微小部X線分析装置

「XGT-9000 Pro」 「XGT-9000 Expert」

- ✓ 材料中に含まれる元素の種類や量を高精度に分析
- ✓ Proは最大65%、Expertは最大50%分析時間を削減※1
- ✓ Expertは世界で初めて※2ホウ素からの軽元素分析を実現



XGT-9000 Expert

半導体ウエハの膜厚分析、  
リチウムイオン電池などの  
製造プロセスにおける  
異物解析などあらゆる材料の  
品質管理や研究開発に寄与

- ※1 当社従来製品との比較。使用方法や条件によって効果が異なる場合がある
- ※2 卓上型のエネルギー分散型蛍光X線分析装置としては世界初（2022年8月時点、当社調べ）

## 無補充式セルフクリーニングpH電極

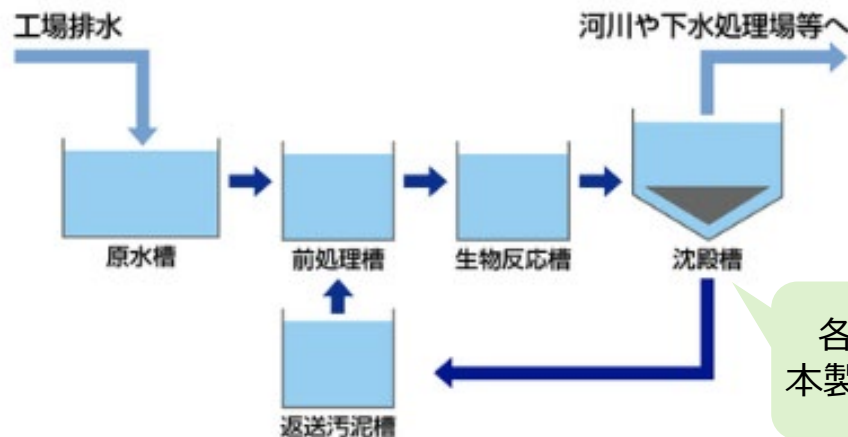
電極の内部液の補充が不要  
世界で初めて※1の防汚技術

- ✓ 電極が汚れやすい排水処理プロセスでの安定的な連続測定を実現
- ✓ メンテナンス工数を最大約99%※2削減し、排水処理の効率化に貢献



無補充式セルフクリーニングpH電極

### 工場排水処理プロセスイメージ



各槽のpH管理で  
本製品が用いられる

※1 ガラス電極式pHメーターとして（2022年10月時点、当社調べ）

※2 当社従来製品との比較。使用方法や条件によって効果が異なる場合がある 11

# 「2022堀場雅夫賞」授賞式を開催（2022年10月18日）

【テーマ】

カーボンニュートラル社会に向けた水素の利活用に貢献する分析・計測技術

水素の社会実装に向けた技術革新に寄与する先端分析・計測技術を募集の対象  
カーボンニュートラル実現に向けた技術開発につながる研究にスポットをあてる



国内外から26件の応募、  
3名が堀場雅夫賞、2名が特別賞を受賞

堀場雅夫賞

国内外の若手研究者・技術者支援を  
通じて、イノベーション創出の加速に貢献



Masao Horiba Awards  
堀場雅夫賞

“分析・計測分野での基本を確立し  
先進的な分析技術を  
明らかにしようとしている  
学究の徒に、少しでも勇気を与えたい”

という創業者・堀場雅夫の  
おもいから、2003年に創設

# 大阪・関西万博（EXPO2025）のテーマ事業へ協賛

「はかる」技術で“いのちの未来”に貢献する



大阪・関西万博  
ロゴマーク

## シグネチャーパビリオン ブロンズパートナー

石黒浩プロデューサー主導パビリオン  
テーマ：「いのちの未来」

技術と融合することにより、いのちの可能性を広げる。  
人間とロボットの境界がつかなくなる世界

いのちの未来 共創プロジェクト2025  
テーマ事業の協賛企業とともに50年後の未来を創造



大阪大学教授  
ATR石黒浩特別研究所  
客員所長  
石黒浩氏

創業以来培ってきた「はかる」技術をベースとし、  
石黒プロデューサーの描く50年後の世界に貢献します

# セミコンジャパン2022 HORIBAブースご案内

## SEMICON<sup>®</sup> JAPAN

2022年12月14日（水）～16日（金）@東京ビックサイト

### 12月16日（金）

- ✓ IR担当者が投資家・アナリストの皆さまにHORIBAブースをご案内します※
- ✓ 先着順の事前申込みで、時間は申込み時に相談
- ✓ ブース内での密を避けるため、希望される方に個別でアレンジいたします（1組5名以下でグループでの参加も可）
- ✓ 申込みはメールにてご連絡ください

堀場製作所 経営企画室 経営企画・IRチーム

[ir-info@horiba.com](mailto:ir-info@horiba.com)

セミコンジャパン2022  
ウェブサイトにて  
事前登録をお勧め  
します



ご参加をお待ちしております！

---

ご参考

# [参考]2021年実績/2022年予想【四半期別】

(単位：億円)

	2021年実績				2022年実績/予想			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	485	527	526	703	555	594	701	798
自動車	121	127	123	239	136	120	156	246
環境	52	48	45	56	47	54	52	80
医用	63	65	62	67	66	70	79	69
半導体	184	216	226	243	222	271	319	305
科学	64	69	68	96	81	78	93	96
営業利益	59	71	67	121	86	76	123	144
自動車	▲ 4	▲ 7	▲ 7	19	1	▲ 18	▲ 15	17
環境	6	4	1	6	4	1	3	10
医用	1	1	▲ 2	0	1	▲ 3	1	5
半導体	52	70	73	82	71	96	124	102
科学	2	2	2	12	6	0	8	8
経常利益	58	71	68	121	87	80	127	139
親会社株主に帰属 する四半期純利益	39	48	49	75	57	55	94	92



ご清聴ありがとうございました

☆最新情報はWebでも！

堀場製作所

検索



☆お問合せ先

経営企画室 経営企画・IRチーム

E-mail : ir-info@horiba.com

TEL : (075) 325-5003

Omoshiro-okashiku  
Joy and Fun



Terima kasih  
谢谢  
Gracias  
Σας ευχαριστώ πάρα πολύ  
धन्यवाद  
شُكْرًا  
Danke  
Tack ska du ha  
Grazie  
**THANK YOU**  
Obbrigado  
Большое спасибо  
Cảm ơn  
Merci  
감사합니다  
ขอบคุณครับ  
ありがとうございました  
Dziękuję